



スワンププロジェクト：スワンアイズを装着した、飛行中の  
オオハクチョウ（ナツキ・6C07）が撮影した仲間

Vol.165

令和5年度3月号

## 第18回伊豆沼・内沼自然再生協議会が開催されました

2月3日、登米市石越公民館で伊豆沼・内沼自然再生協議会が開催され、研究者や関係団体の方々から沼の自然再生活動について議論が交わりました。

今回の会議では、これまで減少していたイヌタヌキモやクロモといった水草が回復し始め、植栽方法の改良等の工夫が成果につながった可能性が報告されました。その一方で、沼の水質は現在も悪化していることが報告されました。水質の悪化はさまざまな要素が絡み合って生じるため、現時点では要因の特定が難しい状況です。今後、さらなる調査・分析が必要との意見が出されました。



# 第17回 伊豆沼・内沼研究集会開催



2月3日、第17回伊豆沼・内沼研究集会が開催されました。40名を超える方々が参加されました。

今回の研究集会では、人工知能による深層学習を用いて昆虫を自動検出・追跡する技術の開発や、カメラ付きGPSを装着しハクチョウの行動を把握する試みなど、最新技術を用いた研究の発表が行われました。

また、地元の高校生や大学院生による研究発表もありました。先輩研究者の皆さんからの質問やアドバイスに緊張した面持ちで対応していましたが、若い研究者の斬新な発想と取り組みを、当財団では今後も支援していきたいと思えます。

## 日本白鳥の会総会・研修会にて講演しました

2月10～11日に日本白鳥の会の総会と研修会が青森県平内町で開催されました。平内町には日本で唯一の特別天然記念物のハクチョウ飛来地があります。

オオハクチョウの集まる浅所海岸視察の後、シンポジウムが開催されました。会場には60名近い方が集まり、その中で嶋田研究室長が「スワンププロジェクト」について講演し、多くの関心が寄せられました。



## 第62回 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンを開催します



事前申込にご協力ください。（申込期限は3月15日まで）  
当日参加（団体・個人参加）は可能ですが、団体での参加は事前の申込をお願いします。

（チラシは鳥館などで配布しております）

日時：3月20日(水) 春分の日

雨天の場合は、3月23日(土)に順延(鳥館HPにも掲載します)

開会：8時30分（小雨決行）

集合場所：鳥館、昆虫館、淡水魚館

◎マスクの着用は各自判断でお願いします。

◎発熱や風邪症状等がある場合、参加をご遠慮ください

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑 ～ シマエナガ ～

シマエナガは北海道に生息するエナガの亜種で、今、日本で一番人気の高い鳥のひとつです。同じ地域を巡回しながら、木の枝先やヨシに隠れている小型の昆虫などを食べています。昨年12月末に植物園に現れ、最大20羽を記録しました。2月14日現在もセンターの周りで数羽が観察されています。本来、北海道に生息する鳥がここで観察される理由は不明ですが、北東北でも観察されていることから、北海道から渡ってきたのではないかと推察されます。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2  
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター  
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217  
ホームページ：<http://izunuma.org/>  
E-mail: [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)

